

あけましておめでとうございまスネ〜〜〜ク♪ 今年の干支は^{えと}巳、へビですね！へビといえ、ルナールのこれ以上ないくらいの確な定義「長すぎる」で十分でしょう。によろによろ。図書館にはニョロニョロはたくさんいますが、さすがにへビはいないですねえ。さて、2024年の年間ベストセラーですが、なんとあの『**変な家**』の続巻である『**変な家2**』が第1位に輝きました！文庫化された『変な家』も1位、単行本でも5位、『**変な絵**』も6位と、ランキングを席卷してしまった感じです。本屋大賞受賞作でいくつもの賞を総ナメにした『**成瀬は天下を取りに行く**』は3位に食いこみました。しかし、単行本フィクション（小説）のランキングが、1.『**変な家2**』2.『**成瀬は天下を取りに行く**』3.『**変な家**』4.『**変な絵**』5.『**成瀬は信じた道を行く**』と、ベスト5を雨穴と宮島未奈さんで独占してしまっていますね！いやはや。個人的には「当たり」の少ない年でした。では、昨年のベストブックたちを紹介します。

BOOK of 2024

『**変な家2 11の間取り図**』 ^{うけつ} 雨穴

あいかわらず、なめてました。『変な家』が映画化されても、一昨年のベストセラーランキングで『変な家』と『変な絵』がワンツーフィニッシュで、もつとも売れた小説になっても。もはやだれもこの勢いを止められない！去年のランキング一人勝ちで、降参です。モキュメンタリー（フィクションをドキュメンタリーのように見せかけて演出する表現方法）待望の続巻！間取りミステリー！一枚の間取り図の謎を解き明かしたのが前作だったのですが、今度は11もの間取り図が登場するのです！それだけでもうくらくれますよね。どこにも行けない行先のない廊下。片腕と片脚が折られた木彫りの人形。16歳の少年が家族3人を殺害した現場となった、気がおかしくなっても仕方がないと思われるほど住みづらい家。実はまったく同じ間取りの家が百軒以上も存在している。林の中の水のない水車小屋。壁の中央の大きなへこみ。開かずの間…。しかもその11の謎がすべて一つにつながるのです！面白そうでしょう？だいぶボリュームアップしてるのですが、お値段は¥1500！安い！頻出する間取り図はもちろん、これまで語られてきた内容をわかりやすく図でまとめていたりして、読者を置き去りにせず、だれもが最後まで楽しめるよう徹底しているのが人気の秘密かな。

『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈

デビュー作ながら、ダ・ヴィンチやキノベス！ほかのランキングを席卷し、本屋大賞まで受賞！「わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」。中2の1学期の最終日、また成瀬がおかしなことを言い出した。いつだって成瀬はすごくて変だ。幼稚園のころからほかの園児とは一線を画していて何でもできたし、小学校の卒業文集に書いた将来の夢は「二百歳まで生きる」だった。「わたしはシャボン玉を極めようと思うんだ」と言うや、夕方のローカル番組「ぐるりんワイド」に出演するところまで行ってしまふ。西武に捧げるとは、毎日西武に通うということだ。地元民からこよなく愛されてきた大津市唯一のデパート、西武大津店が八月いっぱいまでクローズしてしまふ。「ぐるりんワイド」で生中継をするから、毎日通ってテレビに映りこむのだという…。「わたしはお笑いの頂点を目指そうと思う」。「かつてなく最高」の主人公、成瀬のキャラがいいのはもちろん、M-1目指してコンビを組まされてしまふ、幼なじみの島崎との距離感がいいです。成瀬が観光大使になる『成瀬は信じた道をいく』も！

『地雷グリコ』 青崎有吾

去年のミステリーならこれ！ 推理作家協会賞と山本周五郎賞をW受賞し、四つのミステリランキングを完全制覇！ ぶかぶかのカーディガンのちゃらんぽらん系1年女子・射守矢真兔^{いもりやまと}は、めっぽう勝負事に強い。そんな彼女が、学園祭の一番の人気スポット屋上をかけて、2年間無敗の生徒会代表3年男子と対決することに！ 勝負するゲームは、《地雷グリコ》！ 誰もが知っている、グリコ、チョコレイト、パイナツプルのあれに、相手の仕掛けた<地雷>を回避する要素が加えられている。46段の階段で勝負し、プレイヤーは地雷を3つの段に仕掛けることができ、相手プレイヤーの地雷を踏むと、ペナルティとして十段下がらなくてはいけない。シンプルなゲームは、裏の裏を読み合う頭脳戦に！ 面白そうでしょうか？ この本で、真兔は5つのゲームで対決をします。百人一首の絵札を使って神経衰弱を行い、<坊主>をめくると一発アウト！ 《坊主衰弱》。グーチョキパー以外にプレイヤーが考案する<独自手>ありのジャンケン《自由律ジャンケン》。オニがいつ振り向くかは<入札>された数次第《だるまさんがかぞえた》。4部屋にマークごと整然と並べられたトランプを使って役を作り出す《フォールーム・ポーカー》。どのゲームも興味津々ですが、その頂上対決は恐るべきレベルに！ ガチの本格頭脳バトル（騙し合い）小説！

『大使とその妻』上下 水村美苗

せーやさんのマイベスト！「古きよき日本」が大好きで、「失われた日本を求めて」というプロジェクトまで立ち上げた日本在住のアメリカ人のケヴィンは、25年ものあいだ、夏には軽井沢の人里離れた別荘でひとりで過ごしている。別荘と言っても、小さな簡素なものだ。唯一の隣家は、空き家で荒れるに任されていた。ところが、ここ数年、見る見るうちに軽井沢の開発が進み、醜悪な建物が増えていくのをいまいまして思っていると、その隣家も開発の魔の手から逃れることができなかったのだった。大規模な増築工事が始まる。絶望的な思いでいると、思いもよらぬ展開となった。工事の車のナンバーは京都で、わざわざ京都から大きな庭石を運んで日本庭園を造るのだという。さらには、宮大工が伝統的な日本家屋、書院造りを建てるのだそう。住人は南米から帰国した元外交官夫妻。人嫌いのケヴィンも彼らとは親しくなる。彼はその妻・貴子に日本の最良の部分を見る…。「それにしても、不思議な人であった。かくも昔風の印象を与える日本の女の人は見たことがなかった。少なくとも、あの歳の人では見たことがなかった。それでいて、かくもコスモポリタンな印象を与える人を見たこともなかった」。

『最愛の』^{たかひろ} 上田岳弘

「本当に大事なものは手元に置いておくべきなんだ。できることなら誰にも見せずに」。島清恋愛文学賞受賞作！ダ・ヴィンチが「モナ・リザ」を最後まで手元に置いて、死ぬまで手を入れ続けたように、自分だけの何かを作らなきゃならないと言われた38歳の久島は、自分のためだけの文章を書き始めることにした。すると、ひとりの女性のことが思い出された。^{のぞみ}望未。ずーっと長いあいだ文通（手紙のやりとりだ）をしていた女性。中1のときに出会ったが、彼女が交通事故に遭い離ればなれになってしまった（しばらく学校に通うことができず、2年遅れの学校生活となった）ので、始まった文通だった。望未の手紙は必ず「最愛の」という言葉で始められていた。だが、最愛のとだけ書かれていて、最愛の誰であるのかは書かれていなかった。「会いたい」と書いた手紙の返答で、彼女は会わずに文通を続けることを望み、「私からこの文通をやめることはしない」と約束した。そして、その代わりに、二人の関係が終わってしまったなら、ちゃんと彼女のことを忘れること、すっかり忘れてしまって、自分の人生を歩むことという約束を守ってほしいと望まれた。決して、ふたりの文通が終わることなどないと思っていたのだけれど…。離れても会えなくても最愛のひと。

『ともぐい』 河崎秋子

直木賞にふさわしい大傑作！ 人里離れた山のなかでひとり生きる熊猟師の生き様を描いた骨太で壮絶な作品。しかも、この類によくありがちな敵であるラスボスの大熊を倒すまでを書いただけの話ではないのです！ 息つく暇もなく、ストーリーが展開していき、より大きな物語が語られます。舞台は北海道の東部、白糠の山中。家族はいず、名のない犬とだけ暮らす熊爪は、鹿や熊を殺し、解体し、必要に駆られたときだけふもとに降りてきて、それをお金に換えて暮らしていた。それが当たり前で、変わりたいたいと思わず、そんな生活を繰り返してきたが、春の訪れが近づくころ、山中で片目をつぶされるほどの大けがを負った猟師の男を見つける。彼は冬眠のできなかった熊「穴持たず」を阿寒から追ってきたのだが、仕留めることができず逆襲されてしまったのだった。熊爪は男を助け、穴持たずを倒すことになる。ところが、ようやく見つけた穴持たずは、目の前でより若くて巨大な熊に倒されてしまい、熊爪も腰の骨を割る重傷を負い、しばらくは猟のできない体にされてしまう。穴持たずと闘い仕留めるべき存在は自分ではなかったことを、思い知らされたのだ…。「死に損ねて、かといって生き損ねて、ならば己は人間ではない。人間のなりをしながら、最早違う生き物だ」。

『近畿地方のある場所について』 背筋

「私の友人が消息を絶ってしまいました。その情報を提供していただきたいのです」。年下の友人の小川くんが、出版社に就職し、オカルト雑誌を刊行している部署へと配属になった。初仕事に懸ける熱意から、彼はその雑誌のバックナンバーをすべて読もうと試みる。すると、少なからぬ数の怪談記事や事件ルポに、近畿地方のとある地域が登場していることに気づいてしまう。ネットで検索しても、むやみにたくさん。これは「本物」ではないか。やがて、彼は失踪してしまう…。この本は、彼が近畿地方のある場所●●●●●について書かれたものをまとめた本だ。これでもかというほどに怖い話が山のように詰め込まれている。そして、まったく別の話だと思っていたそれぞれの話がつながっていると理解したとき、あなたはもう引き返せないところまで来てしまったことに戦慄することでしょう。冒頭の話は「おかしな書き込み」。動画の無料転載をするアダルトサイトの誰も利用しないコメント欄に、女優宛に「お山にきませんか。かきもあります」という書き込み。いたずらで住所を尋ねると、●●●●●。地図アプリで検索すると、古びた神社だった。しばらくして、「こしいれせよ」という書き込みが…。